

「東北地方乗り潰しの旅」

石井雅博

はじめに

俳優の関口知宏さんが「JR20000kmを全線制覇」を達成してから2年がたった。そんな関口さんに憧れて、僕は7月14日～16日の3日間を利用して、僕は仙台周辺・北東北の旅を実行した。この旅には、もちろん「乗り潰し」という成分が入っているが、少し「撮り鉄」という成分を入れておいた。使った切符は、「三連休パス」の中高生用。値段は16000円だ。この切符は、新幹線を含んだJR東日本の全ての路線と私鉄の伊豆急行、第三セクターの北越急行、IGRいわて銀河鉄道、青い森鉄道に乗ることができ、指定席が4回分無料で取れる切符だ。では、さっそくその旅の様子を教えよう。

7月14日

朝5:45分頃、東京駅に到着。ここから6:00発の臨時の東北新幹線「はやて・こまち71号」に乗って、仙台に向かう。なぜ、6:56分発の定期の「はやて・こまち1号」にしなかったのかというと、「はやて・こまち71号」のほうが1時間も早く着くからだ。

定刻に、東京を発車。乗車率は、100%に近いほど。俺の隣には、誰も乗ってこなかったが、大宮から男の人が乗ってきたのでちょっとショックだった。景色を見ているとずっと曇っている様子だったが、福島を通過する時には少し晴れたが、宮城県に入った途端にまた曇った。

仙台に到着する7分前にデッキのほうに移動し、並行して走る東北本線をずっと見ていた。仙台空港線に直通しているSAT721系や東北本線のE721系が見えてくると、仙台に近づいてきたことを教えてくれた。そして、7:45分に仙台に到着した。



E2系1000番台
東北新幹線「はやて71号」
東京にて

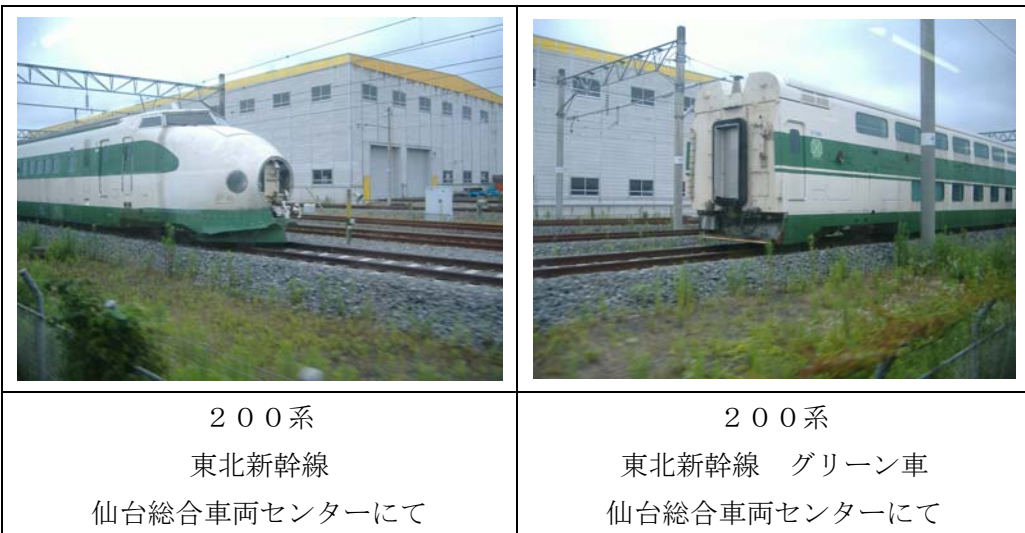
ここから東北本線の撮影地として有名な長町駅に向かう予定だが、ちょっと寄り道をして東北本線の支線といわれている利府支線を乗り潰すことにした。しかし列車の時間まであと10分以上あるので、455系を撮影したり、ホームに6分間停車しているE721系の椅子に座ったり、利府行きの電車が発車する1番ホームを歩いたりした。1番ホームは寝台特急「カシオペア」、

「北斗星」、「エルム」や上野から常磐線を経由する「スーパーひたち」などが止まるため、275mもあった。4番ホームも同じ長さだった。7:57分、利府行きが到着した。車両は、719系。8分も停車しているため、反対側のホームに行って撮影した。



8:05分、仙台を発車した。しばらくして、仙台車両センターが見えてくるとED75形や、団体列車などで活躍している583系が留置しているのが分かる。仙台から2つ目の岩切からは、一ノ関方面と分かれて、しばらく新幹線と併走する。次の新利府駅は、新幹線の仙台総合車両センターに隣接している。ここで降りるのは、そこの車両センターで働いている人じゃないかなと、思っているうちに終点の利府駅に着いた。改札口を出ると目の前にタクシー乗り場やコンビニがあるだけだった。新幹線の車両基地まで歩こうかなと思ったが、時間の都合上から諦めた。

8:30分、さっきの列車で長町に行く。利府駅を出て、さっきは気付かなかったのだが、最近は見られなくなった200系が留置していた。200系は、1980年に登場。東北新幹線や上越新幹線などで活躍していたが、E2系の増備などで姿が見られなかった。しかもこの車両には、なぜか今は無きグリーン車が連結されていた。今ではめったに見られない車両なので、カメラの中にちゃんと収めておいた。列車は8:57分に長町に着いた。



さて、なぜ長町に来たかという、ここは東北本線の撮影地（駅）だからだ。ここで撮る車両は国鉄455系。国鉄455系は、1965年に東北本線や常磐線などで登場。しかし、仙台地区にE721系の車両導入により、順次置換や廃車化などの見込みがあった。そんな訳でここに来た。ここで12:05分発の仙台行きが来るまで、約3時間もホームを行ったりきたりして、国鉄455系を撮影した。その他にも貨物列車や719系、阿武隈急行からの8100系なども撮影できた。



12:05分の列車に乗って仙台に戻る。なぜか分からないが、車内がすごく混んでいた。仙台に来たのは、快速「南三陸号」を撮影するためだったが、運用車両が国鉄急行型のキハ58系ではなく、新型車両のキハ110系だったので撮影を断念したが、臨時快速「こがねふかひれ号」が停車していたので、代わりにそれを撮影した。撮影を終えると、ここからは「仙台 10:24→常磐線 普通列車→11:42 原ノ町 12:19→常磐線 普通列車→13:41 いわき 14:14→特急スーパーひたち42号→16:36 上野」という、常磐線を乗り潰すプランだったが、10:21分発の「スーパーひたち34号 上野行き」があることに気づき、これに乗ることにした。これに乗ると上野に14:35分に着く。1号車の自由席に乗ったが、あいにく窓側は埋まっていた。仕方なく、海が見える通路側の席に座った。

列車は定刻に発車し、途中の名取で仙台空港アクセス線、岩沼で東北本線と分かれた。車内販売があったので、サンドウィッチ弁当かおにぎり弁当を頼もうかと思っていたが（値段が500円くらいだから）、販売していないとの事だった。さらに、途中で長時間停車する駅がなかったため、上野まで何も食べられなかった。途中のいわきで前に7両連結したので、自分の乗っている車両が1号車から8号車になった。高萩あたりの車庫が見えて来た時、今は常磐線から運用を外されている国鉄415系が留置していた。なぜここに留置しているのか気になったが、おそらく廃車になるのを待っているのだろう。日立、勝田、水戸などといった主な駅に停まると、次は終点上野だ。途中の石岡駅は今年の4月1日に廃線となった鹿島鉄道との連絡駅だ。ホームなどが残っているのかと思ったが、石岡駅的位置が分からなかった。土浦を過ぎる頃に、E531系といった東京近郊区間では見慣れた車両が停まっていた。藤代と取手の間でデットセクションがあったので、車内の電気が消えた。取手、天王台、我孫子、柏、松戸、北千住、南千住、三河島、日暮里を通過して、14:35分に終点上野に着いた。これで、常磐線（仙台～上野）は全線制覇した。その後、上野のうどん屋で昼食を食べると、山手線で新宿に帰った。



キハ59系 (右)
快速こがねふかひれ号
仙台にて



651系
特急スーパーひたち34号
仙台にて

7月15日

この日は東京での私用のため、ここでは書かないものとする。

7月16日

何時に東京駅に着いたか分からなかったが、同級生の合田君と待ち合わせをした。ここから乗るのは、秋田新幹線「こまち1号」だ。これに乗って秋田に向かう。06:56分、東京を発車。天気が気になったが、見事な晴天だった。しかし、福島県に入った途端に曇り出し、仙台に着いても曇っていた。さらに、仙台地区の列車が遅れたり、運休したりしている。仙台から東北新幹線を走るのは初めてのことだ。岩手県に入ると、晴れた。ここでトイレに行きたくなった時、思いがけないことに気付いた。トイレのドアの鍵が掛かっているときは「CLOSE」でいいのだが、掛かっていないときは「WELCOME」となっていた。これでは「ようこそ」という意味になってしまう。普通は「OPEN」ではないか。訳が分からなくなってしまった。

盛岡に着くと、ここからは「はやて号」と切り離されて、田沢湖線と奥羽本線をひたすら走る。さっきまで、走っていた東北新幹線や他の新幹線のレールの幅は1435mmである。しかし、在来線の線路の幅は1067mmである。「こまち号」が走る田沢湖線と奥羽本線（大曲～秋田）の幅は、1067mmだと思うかもしれないが、実は、1435mmなのだ。この線路の幅は田沢湖線と奥羽本線（大曲～秋田）以外に、奥羽本線の新庄～福島でも見られる。

話が変わったが、この途中の小岩井あたりで車掌がNHKの連続テレビ小説「どんと晴れ」のロケ地である岩手山の一本桜について説明をしていた。岩手山の周りは、田んぼの緑が鮮やかだった。山頂のほうは雲がかかっていた。途中の大曲は、田沢湖線の終着駅で、奥羽本線の途中駅だ。「こまち号」はここで折り返す。大曲では、田沢湖線の普通列車担当の701系5000番台が停まっていた。大曲を出た頃に親からメールが来た。内容は「新潟県で地震があったみたいだよ。」とのこと。まさかこの列車も、この先乗る列車も遅れるのではないかと心配が出てきたが、遅れは一切ないとのこと。10:55分、秋田に着いた。



E3系 秋田新幹線「こまち1号」 仙台にて	岩手山（左あたり） 車窓	701系5000番台 田沢湖線 普通列車 大曲にて
-----------------------------	-----------------	---------------------------------

ここからは快速「リゾートしらかみ号」に乗り換えるのだが、そのままホームからホームに行くわけにはいかない。「こまち号」が停まったのは11・12番線だが、「リゾートしらかみ号」は3番線である。つまり、「こまち号」が奥羽本線を走るからといって在来線のホームに停まるとは限らない。新幹線ホームから在来線ホームに乗り換えるには、改札口を通らなければならないのだ。3番線には、すでに列車が入っていた。「リゾートしらかみ号」は夏・冬・春休みにほぼ毎日運行している臨時列車だ。1号～6号まであり、1・2・4・5号は秋田～青森を、3・

6号は秋田～弘前をそれぞれ奥羽本線・五能線経由で4～5時間かけて走る。

11:05分、秋田を出発。座席は全席満席で、乗ってきたのは地元の人たちがほとんどだった。車内でパンフレットを配っていたので、ありがたく貰った。中身を見てみると、車両についての説明や駅での停車時間、観光施設などの紹介が掲載されていた。「リゾートしらかみ号」には樫・くまげら・青池編成があり、自分の乗っている車両は、樫編成だった。車内販売があると聞いて行ってみると、「しらかみ弁当」を売っていた。売り切れになる可能性が高いと聞いたので、購入。

途中の東能代からは五能線に入るため、長時間停車をした。その時間を利用して撮影をしていると対向列車がやってきた。やってきたのは、秋田行きのかまげら編成。お互いに、「お疲れ。」「この先もがんばれよ」と言っているみたいだ。先頭車両の一番前に席が空いていたので、そこに荷物を広げた。12時を過ぎたので、「しらかみ弁当」を食べようと思ったが、今日の目玉の五能線に乗ってから食べれば味の楽しみが広がると思い、出発時間を待った。五能線に入ると、早速ふたを開けた。すると、手が止まらず、箸も止めずに食べ始め、わき目も振らずに食べ尽くした。すると、合田君が「運転士が停車中にお前の弁当をうまそうに見てたぞ。」と言っていた。お恥ずかしい……。しばらくすると、日本海が見えてきた。さらにトンネルに入ると、天井のイルミネーションが青色に光った。乗客たちはにぎやかだった。途中の千畳敷駅では12分間停車していた。駅の近くには千畳敷海岸があり、海が目の前に見えた。撮影をしている人がいたので、自分も混ざって撮影をした。発車の3分前になると乗客が乗り遅れないように、警笛を鳴らしてくれた。ああ、なんというローカルな感じ……。

鱒ヶ沢と五所川原の間では、津軽三味線の生演奏を披露してくれた。今まで聞いたことがなかったが、目の前の生の音はテンポが良く、迫力があつた。陸奥鶴田と川部の間では、津軽弁「語りべ」の実演があつた。物語を話してくれているが、内容がまったく分からなかった。津軽弁は、外国語のようだった。だが、これらのイベントは「リゾートしらかみ3号」のみ行われるので、貴重な体験だったと思う。15:50分、終点の弘前に着いた。

		
キハ40系 五能線 普通列車 東能代にて	キハ40系（専用車両） リゾートしらかみ3号 樫（右）くまげら（左） 東能代にて	しらかみ弁当

		
<p>キハ40系（専用車両）と自分 リゾートしらかみ3号 千畳敷にて</p>	<p>津軽三味線 車内にて</p>	<p>津軽弁「語りべ」 車内にて</p>
		
<p>千畳敷海岸</p>	<p>津軽21形 津軽鉄道 普通列車 津軽五所川原にて</p>	<p>キハ40系（専用車両） リゾートしらかみ5号 青池 五所川原にて</p>

ここから16:05分の「つがる30号」に乗って、青森を経由で八戸に向かう。座席は指定が取れなかったの、自由席に座ることにした。青森では7分間の長時間停車があったので、撮影をすることに。この駅はかつて、青函連絡船との連絡駅であった。だが、1988年に青函トンネルが開通すると、青函連絡船は廃止となったが、今でもその面影が残っていた。青函連絡船があったのは、この辺りではないかと思う所を写真に取った。

青森を発車すると、終点の八戸まで東北本線をひたすら走る。途中で眠ってしまい、目が覚めたときには、三沢だったので急いで降りる支度をした。17:48分、終点の八戸に着いた。

		
<p>E751系 特急つがる30号 弘前にて</p>	<p>485系3000番台（右） 特急つがる号（回送） 青森にて</p>	<p>青函連絡船の発着場所の辺り 青森にて</p>

ここからは18:21分発の「はやて88号」に乗って帰ろうかと思ったが、帰りが遅くなると思い、「はやて30号」に変更した。指定席を変更しようと思ったら、「はやて30号」は全席

満席だった。理由はこの時はまだ分からなかったが、新幹線の車内で盛岡から東京まで団体客が乗ってきたという話を耳にした。仕方なく、立席指定券をとった。座席に座ることはできないため、デッキに立った。しかし、東京まで4時間ずっと立っているのは辛かったため、新聞を敷いて座ることにした。ここで合田君は、靴下を新聞紙に挟んで乾かすことに。途中でお腹が減ったため、車内販売で「牛タン弁当」を購入。東北新幹線を走ると共に、日は暮れていった。21：02分、終点の東京に着いた。幸い、1つの遅れも出なくて良かった。合田君と別れると、中央線で新宿に帰った。

終わりに

今回の旅は、事故や遅れなどが発生することがなく、十分に楽しむことができた。さらに、この3日間（実は2日）を利用して、利府支線、常磐線、秋田新幹線（田沢湖線、奥羽本線の大曲～秋田）、五能線、東北新幹線を乗り潰すことができた。この達成感自分でも味わいたいが、読者の皆さんも味わってみませんか。この旅は終わってしまったが、乗り潰しの旅はまだ続く。長くなりましたが、読んで下さってありがとうございました。